熊本地震の倒壊状況（熊本市）

現地リポート

2回の震度7の強い揺れで棹石（300～400Kg）は真上に跳ね上がり倒壊したと考えられます。
施工法の違いで強い地震後の状況に大きな差が出ています。

地震に自信あり

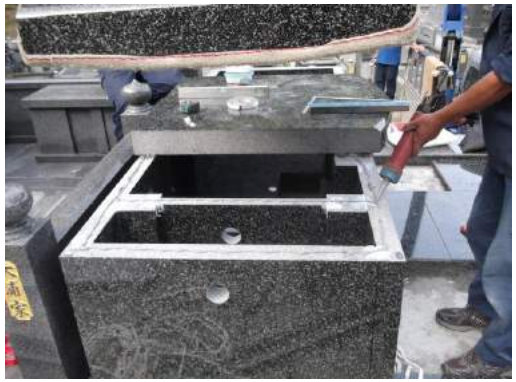
任せて安心 石匠の耐震施工

石匠の耐震施工①

石匠では石材の底面に石と石が直接触れないように専用の鉛を敷き、更に鉛の内側に「耐震シーリング剤」を施し
石と石を接着、シーリング剤の半粘性で免震効果があり、更に石材を載せた接地面の縁にも全て「耐震シーリング剤」を
施工します。

石匠の耐震施工②

また、石材の接合部には「ステンレスあいば」を石の溝に入れその部分にエポキシボンドを流し入れ強力に接合する施工をしています。



震度7に耐えた当社建立の墓！

平成28年4月熊本地震
2回の

平成22年建立　熊本市東区

法名塔が横倒れしていますがお墓は異常無し

平成19年建立

熊本市西区

正面　後方

異常無し

平成19年建立　熊本市西区

法名塔が前倒れしその衝撃でコーランが破損していますがお墓は異常無し